

# 「あさひかわオープンカレッジ」のご案内

共催：旭川市教育委員会

日時：2016年10月1日～11月26日（土曜日）全6回 13:00～15:00

場所：フィール旭川7階 講義室（日によって場所が変わります。裏面へ記載）

一般社団法人旭川ウェルビーイング・コンソーシアムと旭川市教育委員会とが連携し市民のための公開講座を開催します。  
（資料代として各1講座、500円いただきます）

## テーマ「旭川のちから」

10月1日（土）「私たち」と「あなたたち」をつなぐ言葉

——北海道の近代文学・入門編

講師：北海道教育大学 准教授 村田裕和

10月15日（土）コンピュータの中の立体

～作る、取り出す、入り込む～

講師：東海大学 教授 渡辺宏二

10月29日（土）“旭川のちから” その活かし方を考える

講師：旭川工業高等専門学校 教授 岡島吉俊

11月12日（土）旭川に暮らして、高齢者がおいしい食事を摂る

～乳和食で健康に！！～

講師：旭川大学短期大学部 准教授 柴山祐子

11月19日（土）高齢社会の現状と課題

～旭川市の現状と私たちができること～

講師：旭川大学 准教授 栗原律子

11月26日（土）染色体から遺伝を知る、

そして未来の生命と健康を考える

講師：旭川医科大学 教授 立野裕幸

お申込み・お問合せ 一般社団法人 旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

TEL & FAX 0166-26-0338

Mail [awbchiroba@gmail.com](mailto:awbchiroba@gmail.com)

旭川ウェルビーイング・コンソーシアムでは、市民のみなさんの身体的・精神的・社会的な健康の達成と、元気な地域の形成に貢献できるよう様々な活動を行っております。本講座も生涯教育のひとつとして、単なる知的興味の満足や伝達に終わるのではなくともに地域の課題を考え、地域づくりに取り組む契機となることを目指しております。お気軽に参加ください。（興味のある講座だけでも受講できます）

定員：各講座30名

募集開始日：8月29日（月）10時より

（道民カレッジ連携講座：各2単位）

### 講義概要

10/1（土）（シニア大学講座室）

「『私たち』と『あなたたち』をつなぐ言葉——北海道の近代文学・入門編」

作家中野重治は、北海道の文学には「人の人たる道を実行上つらぬくという態度」があると書いています。それは法律・制度・習慣にあてはまるかどうかを生き方の基準に据えるのではなく、目の前にいる人、目の前にある自然を大切に、それらと真摯に向き合うような態度のことをいうのでしょうか。北海道の近代文学をふりかえりながら「協同」することを大切にしたい人たちの言葉をあらためて味わいたいと思います。

10/15（土）（シニア大学講座室）

「コンピュータの中の立体～作る、取り出す、入り込む」

3Dモデリング（立体を作る）、3Dプリンティング（立体を取り出す）、VR仮想現実（立体に入り込む）技術が身近なものになって来ています。家庭用のコンピュータシステムやスマートフォンを使ったこれらの事例紹介を通して、今後の産業がどう変わり得るかを考えていきたいと思っています。

10/29（土）（共用会議室1）

「“旭川のちから” その活かし方を考える」

未来の旭川が“元気”でいるためにはどうすれば良いのでしょうか。旭川には旭川を元気にするタネ（ちから）がたくさんあります。それらを組み合わせることでその効果をより大きくすることができると思います。「組み合わせる」をキーワードに、旭川の力の活かし方を考えます。

11/12（土）（共用会議室1）

「旭川に暮らして、高齢者がおいしい食事を摂る～乳和食で健康に！！～」

生活習慣病の発症や進行には、食生活や運動習慣、嗜好品などの生活習慣が深く関わっていることから、疾病の早期発見や治療には、疾病の発症を予防する「一次予防」としての「健康づくり」が重要である。高齢者の食事改善に向け、旭川産食材で「乳和食」減塩食について発信する。

11/19（土）（シニア大学講座室）

「高齢社会の現状と課題～旭川市の現状と私たちができること～」

平成26年我が国の高齢者人口は過去最高となり、総人口に占める割合（高齢化率）も過去最高の26%に達しました。ここ旭川も例外ではありません。そこで、旭川も含めた高齢化の現状を概観し、これからの超高齢社会を心豊かに生活するために何が出来るのかを考えていきたいと思っています。

11/26（土）（共用会議室1）

「染色体から遺伝を知る、そして未来の生命と健康を考える」

染色体は細胞から細胞へ、そして親から子へ遺伝子を運んでいます。染色体の伝わり方によって次の世代に遺伝子の新しい組合せが生じます。染色体が傷つくと細胞の死やがん化、遺伝病のリスクが高くなります。未来の安全安心を染色体科学から考えます。